

植松 葉子 篠笛・能管

京都市生まれ。 国立音楽大学器楽科卒業。

のちに東京芸術大学邦楽科別科にて能楽囃子を学ぶ。森田流能管を松田弘之氏に師事

国指定重要無形民俗文化財に指定されている、江戸里神楽・若山社中の囃子方を経て、現在は横笛演奏者(篠笛・能管)として様々な活動を行なっている。

小平の雑木林で、毎年春と秋に行われる『月夜の幻燈会』では、音楽制作と演奏を担当しているほか、創作竹楽器パフォーマンス集団・東京楽竹団のメンバーでもある。

2016年には楽竹団から、CD「竹ノオト」をリリース。デンマーク・韓国・台湾・イギリス・ドイツ・オーストリアなど海外での公演にも多く参加している。

1998年から1999年にかけて、ドイツ・ベルリンに在住し、演奏活動やレクチャーを行う。2011年6月には、ベルリン RIAS 室内合唱団主催の東日本大震災チャリティーコンサートに出演した。

2019年3月に、埼玉県ときがわ町に住まいの拠点を移し、自然と対話する生活を始めている。